

カンボジア国

物流改善実施能力向上プロジェクト

業務の背景

カンボジア政府は、同国の物流環境を改善するべく物流マスタープランを策定し、その実施体制整備を進めるだけでなく、主要インフラ整備や物流改善に資する政策策定を進めてきた。特に、JICA の協力により 2018～2023 年に実施された技術協力プロジェクト「物流システム改善プロジェクト」が実施され、上記の物流マスタープランに基づき、グリーン物流、コールドチェーン、トラック近代化等に関する政策策定が支援された。さらに、事業進捗を含むモニタリング・評価も行われ、その成果は物流マスタープランの年次報告書にまとめられた。

このように物流マスタープランの策定と優先事業の実施体制が整いつつある。しかし、定量的なデータや定期的なモニタリングに基づく物流改善に資する計画策定や、事業の実施促進・調整及び越境交通の改善には課題が残っている。今後も堅調な経済成長を背景に、物流量の増加やサービスの高度化への需要の高まりが見込まれる中、モニタリングの結果や定量的なデータに基づく計画策定能力の強化、インフラ整備やソフト施策の実施能力の強化、越境交通改善のためのファシリテーション能力強化を通じた、物流コスト・時間の縮減と物流サービスの質の向上が、産業開発にむけた最重要課題の一つとなっている。

業務概要

物流ネットワークと物流サービスの改善のための実施・促進能力が強化されることをプロジェクト目標とし、下記の 3 つの成果を上げるべく業務を行っている。

成果 1：物流改善のためのモニタリング・評価と計画に係る能力が強化される

カンボジアの物流網改善に向け、国内の主要 3 回廊における輸送コスト・時間・貨物量等のデータを、技術的・人的・予算的に無理のない持続可能な方法で収集・分析する。分析結果を基に物流のボトルネック改善やネットワークの強化のための事業案の提案を行う。さらに、マスタープランの優先プログラムの進捗や、民間物流企業に対するアンケート調査の結果等をまとめた、物流年次報告書についても改善支援を行う。加えて、同国政府のリージョナルハブ構想の実現に向けて、インフラ開発、産業クラスター形成、国際協力と貿易促進の政策分野に重点を置いた調査を行う。

成果 2：物流改善のための実施・促進の能力が強化される

これまでの協力で策定されてきた政策の実施支援や物流マスタープランの優先事業の実施促進、今後の物流改善において重要と思われる計画策定・実施促進支援等を行い、物流

改善を支援する。道路貨物輸送に関しては、大型車両運転手不足にかかる調査、トラック近代化政策の実施支援、危険物輸送の省令の実施支援等、他の政策実施支援等を行う。一方鉄道輸送に関しては、鉄道施設のインベントリー調査、鉄道事業者管理方策の検討、鉄道事故報告制度の構築に向けた支援を行う。

成果3：越境輸送の改善のためのファシリテーション能力が強化される。

過去の JICA の協力で実施してきた陸路国境の改善の取組支援・ファシリテーションに加えて、鉄道と河川における越境交通の円滑化に向けた活動を実施している。陸路国境に関しては、バベット（カンボジア）-モクバイ（ベトナム）、ストウンボット（カンボジア）-バンノンイアン（タイ）、を重要な対象国境として、国境通過車両の調査を実施するだけでなく、二国間での国境改善にむけた対話や合同調査の実施促進・支援を行う。加えて、タイとカンボジア間の国際鉄道運行開始のために、ベトナムとカンボジア間の越境河川交通改善のために、対象2カ国の対話促進・支援を行う。



現地政府との打合せ



鉄道インフラの調査



路側 OD 調査

インターンシップ研修内容

各プロジェクトの進捗状況や参加希望者のスキル等を考慮して決定する予定ですが、現段階では以下のような業務が想定されます。

- 物流実態調査の実施支援（収集データの集計や図表化、分析など）
- クライアントや委託先、現地スタッフとの会議への出席
- インターンシップ業務の概要や業務を通して得た気づきについて社内会議で発表

対象者

土木計画学あるいは交通計画、交通工学、都市計画、情報工学、空間解析、データサイエンス等の分野に知見のある学生

実施時期

7月～9月頃の2～3週間程度。希望に合わせて時期は柔軟に設定可能 ※応相談

募集人数

若干名